

**ALESIS®**

**MULTIMIX8USBFX**  
8 CHANNEL MIXER / USB RECORDING INTERFACE

ユーザーガイド

## 安全にお使いいただくために

### この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

### 製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でごご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

### inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[ Web ] [inmusicbrands.jp](http://inmusicbrands.jp)

[ サポート ] [www.inmusicbrands.jp/support](http://www.inmusicbrands.jp/support)

## ユーザーガイド

### はじめに

#### 同梱品

MultiMix 8 USB FX  
電源アダプター  
USB ケーブル

ソフトウェア・ダウンロード・カード  
ユーザーガイド/保証書

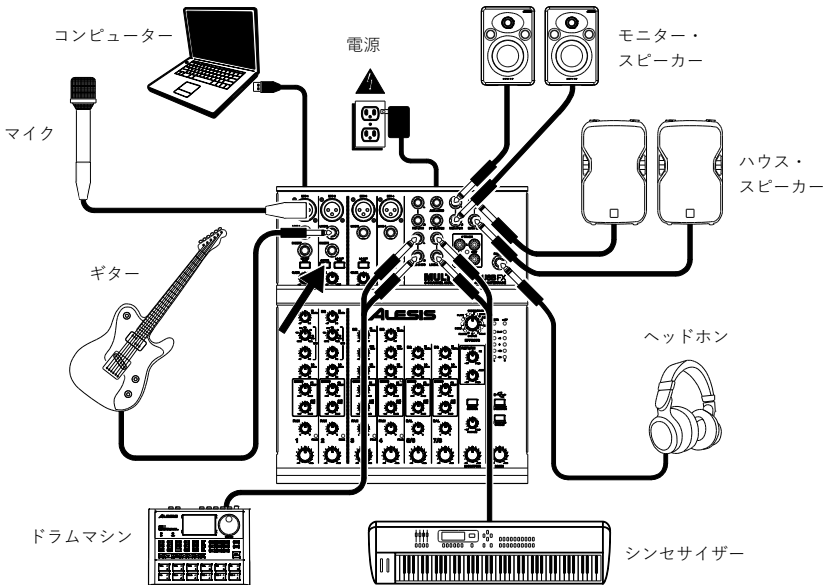
#### サポート

MultiMix 8 USB FX の最新情報 (システム要件や互換性など) につきましては、製品ページ (<http://alesis.jp/multimix8usbfx/>) をご覧ください。

製品のサポートにつきましては、<http://inmusicbrands.jp/support/> をご覧ください。

### セットアップ

はじめに>同梱品にないものは別売です。



#### 注意

- アクティブ・ピックアップのギター・ベース等を入力するときは、Guitar Switch を上側のポジションにセットしてください。パッシブ・ピックアップではその逆の設定です。
- ハイ・ゲインなセッティングですとノイズが発生する恐れがあります。その際は MultiMix8USB FX の電源を、ギター・ケーブルおよび MultiMix8USB FX のチャンネル・インプットから離してください。
- ミキサーのエンドキャップを取り外す際は 3mm 六角レンチを使用してください。

## オーディオ設定

MultiMix 8 USB FX をデフォルトの再生デバイスとして設定するには、コンピューターのオペレーティングシステムに基づいて以下の手順に従ってください。

### Windows:

1. 付属の USB ケーブルを使用して MultiMix 8 USB FX をコンピューターに接続し、電源スイッチで電源を入れます。
2. タスクバーのスピーカーアイコン (音量コントロール) を右クリックし、出力デバイスを選択します。  
またはスタートメニュー > コントロールパネル (クラシック表示) では設定 > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > サウンドに移動します。
3. サウンドコントロールパネルで再生タブを選択し、既定のデバイスとして USB AUDIO CODEC\* を選択します。
4. 録音タブをクリックし、既定のデバイスとして USB AUDIO CODEC\* を選択します。
5. 右下隅にあるプロパティをクリックします。
6. 詳細タブをクリックし、規定の形式として 2 チャンネル、16 ビット、44100Hz (CD の音質) を選択します。
7. 排他モードのチェックボックスを外します。
8. OK を押してプロパティウィンドウを閉じます。
9. OK を押してサウンドコントロールパネルを閉じます。

\* コンピューターに他の USB オーディオ機器を同時に接続している場合は、MultiMix8USB FX を認識させるため、両方の機器の設定が必要になる事があります。

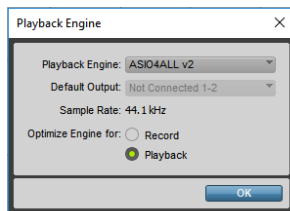
### macOS:

1. 付属のUSBケーブルを使用してMultiMix 8 USB FXをコンピューターに接続し、電源スイッチで電源を入れます。
2. アプリケーション > ユーティリティ > オーディオ MIDI設定に移動します。
3. オーディオ装置ウィンドウの左側の列のUSB AUDIO CODEC\*を選択します。
4. USB AUDIO CODEC\*を右クリックしてこのサウンド入力装置を使用を選択します。
5. USB AUDIO CODEC\*を右クリックしてこのサウンド出力装置を使用を選択します。
6. Audio MIDI設定を終了します。

## MultiMix 8 USB FX と Pro Tools | First Alesis Edition の設定

### Windows :

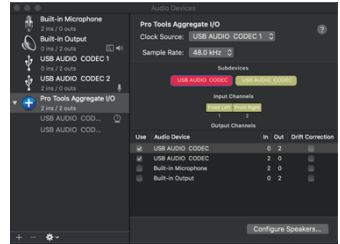
1. asio4all.org で PC 用 ASIO4ALL ドライバー (フリーウェア) をダウンロードしてインストールします。ASIO ドライバーはオーディオデバイスとソフトウェア間の通信を効率的に行なうことにより一般的に遅延が少なくなります。
2. ASIO4ALL アプリケーションを開き、Device List から USB AUDIO CODEC\* を選択します。
3. 付属の USB ケーブルで MultiMix 8 USB FX をコンピューターに接続し、電源スイッチで電源を入れます。
4. Pro Tools | First Alesis Edition を開きます。
5. 設定 > プレイバック エンジン... に移動します。
6. プレイバック エンジンのドロップダウン・メニューより ASIO4ALL を選択します。  
**注：プロジェクトを保存して再起動する必要がある場合があります。**
7. サンプリングレートを設定して OK をクリックして設定ウィンドウを閉じます。
8. 設定 > I/O に移動し ASIO4ALL を入出力デバイスに設定します。



macOS :

Pro Tools | First Alesis Edition を使用の際に MultiMix 8 USB FX からオーディオを送受信するためには、Aggregate Device を作成する必要があります。

1. 付属の USB ケーブルで MultiMix 8 USB FX をコンピューターに接続し電源スイッチ入れます。
2. アプリケーション > ユーティリティ > オーディオ MIDI 設定に移動します。
3. オーディオ装置ウィンドウで Pro Tools Aggregate I/O を選択します。
4. Clock Source で USB Audio Codec 1 を選択します。
5. USB Audio Codec の両方の Use ボックスがオンになっていることを確認します。



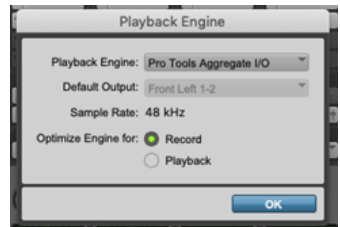
また、Pro Tools | First Alesis Edition に対するマイクアクセスを許可するために、コンピューターのプライバシー設定を調整する必要があります。

1. アプリケーション>システム環境設定>セキュリティとプライバシーに移動します。
2. プライバシータブからマイクを選択します。
3. Pro Tools First がマイクへのアクセスを許可されていることを確認します。これにより MultiMix 8 USB FX で Pro Tools | First Alesis Edition に録音することができます。



この手順の後、新しいアグリゲート・デバイスの設定がソフトウェアで可能になります。

1. Pro Tools | First Alesis Edition を開きます。
2. プレイバック エンジンのドロップダウン・メニューから Pro Tools Aggregate I/O を選択します。  
**注：プロジェクトを保存して再起動する必要がある場合があります。**
3. サンプルレートを選び OK を押して設定ウィンドウを閉じます。
4. 設定 > I/O に移動し Pro Tools Aggregate I/O を入力出力デバイスに設定します。

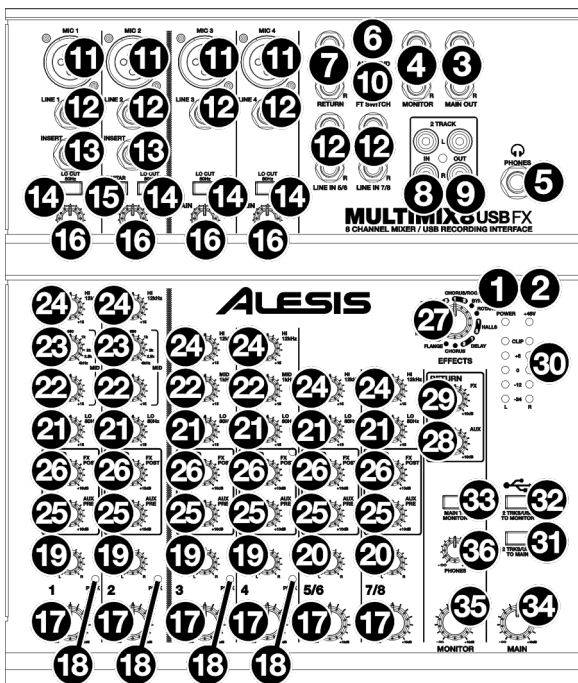


これで、トラックを追加して MultiMix 8 USB FX 入力に接続された機器とオーディオ/MIDI を送受信したり、録音されたオーディオを MultiMix 8 USB FX から出力することができるようになりました。

## 特徴

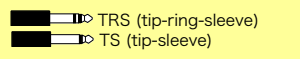
### トップパネル

1. パワーLED：電源が ON の時に点灯します。
2. ファンタム電源 LED：ファンタム電源が ON の時に点灯します。
3. MAIN OUT (メイン出力)：1/4 インチフォーン・ケーブルを使用してスピーカーもしくはパワー・アンプに接続します。出力レベルはメイン・ボリューム・ノブにより決まります。
4. MONITOR (モニター) 出力：1/4 インチフォーン・ケーブルを使用してスピーカーもしくはパワー・アンプに接続します。出力レベルはモニター・ボリューム・ノブにより決まります。
5. PHONES：1/4 インチステレオフォーンケーブルのヘッドホンに接続します。出力レベルはヘッドホン・ボリューム・ノブによって決まります。
6. AUX SEND：通常は 1/4 インチモノラル・フォーン・ケーブルを使用して、エフェクターなど外部機器の入力に接続します。また、ステージ・モニター用ミックスの出力としても使用できます。
7. AUX RETURN：通常は、1/4 インチモノラル・フォーン・ケーブルを使用してエフェクター等、外部機器のアウトプットを接続します。また、シンセサイザーやドラムマシン等を接続する追加のインプット・チャンネルとしても使用できます。モノラル信号を入力する場合は、左のジャックにのみ接続してください。
8. 2 TRACK IN：通常は、RCA ケーブルを使用して外部録音機器のアウトプットを接続します。また、録音したテイクの確認や、携帯用ミュージック・プレーヤーの再生にも使用できます。2 TRKS/USB TO MONITOR ボタンを押すと、信号がモニター・スピーカーとヘッドホンに送られ、2 TRKS/USB TO MAIN ボタンを押すと、メイン出力に送られます。
9. 2 TRACK OUT：RCA ケーブルを使用して、外部録音機器のインプットに接続します。
10. FT SWITCH：1/4 インチフォーン・ケーブルでフットスイッチ(別売)を接続して、全チャンネルの内蔵エフェクトのバイパスを操作できます。BOSS FS-5L または FS-6 ベダルのような、ラッチタイプのフットスイッチを使用してください。
11. MIC 入力：XLR ケーブルでマイクを接続します。
12. LINE 入力：1/4 インチフォーン・ケーブルでライン・レベルの機器を接続します。
13. INSERT：MultiMix8USB FX の内部プリアンプと A/D コンバータの間にコンプレッサや EQ を接続します。1/4"TRS フォーン・ケーブルを使用します。
14. LO CUT(ローカット)スイッチ：ハイパス・フィルターを ON にして、80Hz 以下の低域をカットします。
15. GUITAR スイッチ：このスイッチが下側の時、チャンネル 2 はギター・ベースなどのハイ・インピーダンス機器を入力できます。スイッチが上になっている時は、マイクやライン入力に対応します。



ステレオ入力 (ライン入力 5/6、7/8、AUX RETURN) 使用時の注意点：  
 ・左側チャンネルだけに入力すると、モノラルとなり、LR 両方に同じ信号が入力されます。左右のバランスは調整できません。  
 ・右側チャンネルだけに入力すると、R 側だけに入力されます。

インサートは 1/4 インチ TRS フォーン・ケーブルを使用します。Tip 部が出力、Ring 部が入力です。



16. GAIN : ゲイン・レベルを調整します(プリフェーダー、プリ・イコライザー)。曲中の一番音羅の大きい部分で、ピーク LED がちょうど点灯するよう調整します。
17. チャンネル・ボリューム : チャンネルのボリュームを調整します。
18. ピーク LED : 信号が大き過ぎる場合、赤く光ります。GAIN ノブやチャンネル・ボリュームノブを使用して調整してください。
19. チャンネル・パン : モノラル信号のステレオ・ポジションを調整します。
20. バランス (チャンネル 5/6、7/8) : 5/6、7/8 チャンネルのバランスを調整します。
21. チャンネル・イコライザー (LOW) : 各チャンネルの低域を調整します。
22. チャンネル・イコライザー (MID) : 各チャンネルの中域(可変)を調整します。
23. チャンネル・イコライザー (MID FREQ) : 各チャンネルの MID EQ で調整する周波数を設定します。
24. チャンネル・イコライザー (HIGH) : 各チャンネルの高域を調整します。
25. AUX PRE (AUX プリ・センド) : 各チャンネルの AUX センド出力に送るレベル(PRE-EQ)を調整します。外部エフェクトの接続や、ステージ・モニター用ミックスの出力として使用します。
26. FX POST (FX ポスト・センド) : 各チャンネルの内蔵エフェクトに送るレベル(POST-EQ)を調整します。
27. EFFECTS セクター : 使用する内蔵エフェクトの種類を選択します。各チャンネルから内蔵エフェクトに送るレベルは、FX ポスト・センド・ノブで調整します。内蔵エフェクトの詳細については、エフェクトの項目を参照してください。
28. AUX RETURN レベル : AUX リターン入力のボリュームを調整します。
29. FX RETURN レベル : 内蔵エフェクトからのリターンのボリュームを調整します。
30. LED メーター : メイン出力のレベルを表示します。
31. 2 TRKS/USB TO MAIN : コンピューターまたは 2 TRACK IN の信号をメイン出力にルーティングします。
32. 2 TRKS/USB TO MONITOR : コンピューターまたは 2 TRACK IN の信号をモニター出力とヘッドホンにルーティングします。
33. MAIN TO MONITOR : メイン出力の信号をモニター出力やヘッドホンにルーティングします。
34. MAIN (メイン) ボリューム : メイン出力のボリュームを調整します。
35. MONITOR (モニター) ボリューム : モニター出力のボリュームを調整します。
36. PHONES (ヘッドホン) ボリューム : ヘッドホンのボリュームを調整します。

注 : コンピューターに録音を行なう時には、フィードバックを防ぐため必ず 2 TRKS/USB TO MAIN スイッチが上がっている(OFF になっている)ことを確認してください。または、ソフトウェアによっては、設定で「ブレイスルー」を OFF にする方法もあります。

## リアパネル

1. 電源コネクタ : 電源アダプター (同梱) を接続します。電源が OFF になっているのを確認し、本体とコンセントに電源アダプターを接続します。
2. POWER (パワー) スイッチ : MultiMix8USB FX の電源をオン/オフします。電源を入れるときは、すべての入力デバイスが接続された後に電源を入れ、最後にパワー・アンプの電源を入れます。電源を切る時はパワー・アンプの電源を切ってから MultiMix8USB FX の電源を切ります。
3. PHANTOM POWER (ファンタム電源) : このスイッチは XLR マイク入力に+48V のファンタム電源を供給します。ファンタム電源はコンデンサー・マイクに必要ですがダイナミック・マイクには不要ですので、使用する前にマイクの種類を確認しましょう。
4. USB ポート : USB ケーブルで MultiMix8USB FX をコンピューターに接続します。MultiMix 8 USB FX は、USB 1.1 または 2.0 ポートに接続可能です。



## エフェクト

各チャンネルでエフェクトを使用するには：

FX POST ノブを上げてから、FX RETURN ノブを上げます。ヘッドホンで聞く場合は、MAIN TO MONITOR ボタンを押します。EFFECTS セレクターノブでエフェクトを選択してください。

## ロータリー・スピーカー・エフェクト

- ROTARY：オルガンなどに使用される回転式スピーカの効果をシミュレートします。ギターやボーカル、キーボード等に適しています。

## リバーブ・エフェクト

- HALL 1：大きなコンサート・ホールのきらびやかな残響を付加します。ボーカルや楽器に適しています。
- HALL 2：大きなコンサート・ホールの温かい残響を付加します。ドラムやピアノなどの楽器に適しています。
- ROOM 1：中程度の部屋のきらびやかな残響を付加します。リードギターなどの楽器に適しています。
- ROOM 2：小さめの部屋の反射の多い残響を付加します。ドラムやパーカッション、エレキギターなどの楽器に適しています。
- ROOM 3：大きめの部屋の暖かい残響を付加します。アコースティック楽器に適しています。
- PLATE 1：長めのディケイを持つ、スムーズなボーカル用プレート・リバーブです。
- PLATE 2：中程度のディケイを持つ、ピンテージ・プレート・リバーブです。
- PLATE 3：短くきらびやかなプレート・リバーブです。繊細な音づくりに適しています。

## モジュレーション・エフェクト

- CHORUS：短いディレイのモジュレーションにより、ゆっくりとしたツヤのあるコーラス効果を付加します。
- FLANGE：クラシックなフランジャーです。

## ディレイ・エフェクト

- DELAY 1：フィードバックの無いシンプルなディレイです。ボーカルやリズム・ギターに適しています。
- DELAY 2：中程度の長さで、フィードバックありのディレイです。エコーを強調したいソロパートなどに適しています。

## マルチ・エフェクト

- CHORUS - ROOM 1：遅めの CHORUS モジュレーションと ROOM リバーブの組合せで、スパーシーな効果を作ります。
- CHORUS - ROOM 2：速めの CHORUS モジュレーションと短い ROOM リバーブの組合せで、劇的なコーラス効果を作ります。

BYPASS：エフェクトをバイパスします。



## 付録

## 技術仕様

入力チャンネル	MIC INPUT 入力感度: -69 dBu ~ -19 dBu 公称、+18 dBu 最大 LINE INPUT 入力感度: -49 dBu ~ +1 dBu 公称、+18 dBu 最大 MIC INPUT / LINE INPUT ゲイン・レンジ: $-\infty$ ~ +20 dB
イコライザー	Hi: 12 kHz, $\pm 15$ dB Mid: 120 Hz ~ 4kHz, $\pm 15$ dB Lo: 80 Hz, $\pm 15$ dB
AUX センド	AUX センド・ゲインレンジ: $-\infty$ ~ +10 dB
AUX リターン	AUX リターン A ゲインレンジ: $-\infty$ ~ +10 dB エフェクト・レベル / AUX リターン B ゲインレンジ: $-\infty$ ~ +10 dB
チャンネルレベル	<b>Channel Level Gain Range:</b> $-\infty$ to +10 dB
マスターレベル	MAIN MIX / MONITOR MIX ゲインレンジ: $-\infty$ ~ +10 dB
1/4 インチ入力	AUX リターンレベル: -16 dBu 公称、+18 dBu 最大
RCA 入力	2 Track In レベル: -10 dBV 公称、+18 dBV 最大
1/4 出力	メイン出力 / モニター出力 / AUX センド: +4 dBu 公称、+18 dBu 最大
RCA 出力	2 Track Out レベル: -9 dBV 公称、+19 dBV 最大
USB オーディオインターフェース	解像度: 16-bit サンプリングレート: DAC: 32, 44.1, 48 kHz ADC: 8, 11.025, 16, 22.05, 32, 44.1, 48 kHz インターフェース: USB 1.1以上
電源	18V DC、800mA、センタープラス
サイズ (w x d x h)	273 mm x 282 mm x 71 mm
重量	2.34 kg

仕様は予告なく変更になる場合がございます。

## 商標とライセンス

Alesis は、米国およびその他の国で登録されている inMusic Brands, Inc.の商標です。macOS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc.の商標です。Windows は、米国およびその他の国におけるマイクロソフト株式会社の登録商標です。Pro Tools は、Avid Technology, Inc. またはその子会社の米国およびその他の国の商標または登録商標です。ASIO は、Steinberg Media Technologies, GmbH の商標およびソフトウェアです。その他の製品名、会社名、商標、または商号は、それぞれの所有者に帰属します。

ブロック・ダイアグラム

